

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	災害医療対策事業			会計	款	項目	大	小
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	健康増進課			
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり		主管課長	伊原 理香			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	平常時から地域の災害医療対策の整備に関する事項の検討を行う場として、医療関係団体等を構成員として会議を設置し、災害時に備えるものである。
事業内容	災害時に、1人でも多くの命を救うため、関係機関の連携強化や災害時の医療救護体制のマニュアル作りのために、流山市災害医療対策会議を設置し、会議を開催する。マニュアルに基づき、災害時の医療救護体制の整備するための衛生材料や医薬品、備品などを整備する。			
事業開始から現在までの状況変化	関係機関と庁内の関係課の16名が委員となり、平成25年8月29日から15回にわたり流山市災害医療対策会議で検討し、平成29年11月16日に開催された第15回会議をもって「流山市医療救護活動マニュアル」をvol.1として確定した。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	災害医療対策会議実施回数	1	1	3	回	→→
②	ランニング備蓄店舗数	25	28	31	店	↑↑↑	
③							
④							
⑤							
⑥							

  

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	6,982,424	4,017,464	4,955,061
事業費(b)(円)	3,549,924	661,464	1,659,061
うち一般財源	3,549,924	661,464	1,659,061
職員給与と費(c)(円)	3,432,500	3,356,000	3,296,000
人役・職員(人)	0.50	0.50	0.50
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

- 「流山市医療救護活動マニュアル」について、平成29年11月16日に開催された第15回会議をもってvol.1として確定し、流山市地域防災計画の災害医療救護領域を補完するマニュアルとし市のホームページで公表した。
- 平成29年1月から流山市薬剤師会とランニング備蓄業務委託契約を締結し、市内31か所の薬局で医薬品の備蓄を実施。
- また、平日夜間休日診療所における医薬品の備蓄を行った。

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	マニュアルの周知やマニュアルに沿った救護所開設訓練、図上訓練や実地訓練などを通じて実践的な取り組みにつなげていく。	③取組における課題(Check)	引き続きマニュアルに沿った実践的な取り組みにつなげていく必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	医師会・歯科医師会・薬剤師会等とともに、総合防災訓練での救護所開設訓練、実際に救護所を開設する中学校格技場の視察、研修会等を実施した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	マニュアルの周知やマニュアルに沿った救護所開設訓練、図上訓練や実地訓練などを通じて実践的な取り組みにつなげていく。